

日遊協が「パチンコ産業合同説明会」

「リクナビLIVE」に出展

ブースは満員続々で活況 635人がセミナーに参加



▲立ち見も出た日遊協ブース「パチンコ産業合同説明会」



▼セミナー終了後、ノベルティーグッズのプレゼントも人気



日遊協ブースなどが出展された
国際展示場の活況

若い優秀な人材を遊技業界に招くため、日遊協は12月9日、千葉幕張メッセの国際展示場で開かれた(株)リクルートの「リクナビSUPER開幕★LIVE2014」に、565人からアンケート

大幅にイメージアップ 89%が「就職の対象」に

人材育成委員会は12月9日の「パチンコ産業合同説明会」でセミナーに参加した学生635人のうち、565人からアンケートを回収し、速報を発表した。

「セミナーで『パチンコ業界』について理解できたか」の設問に対し、93%がよく理解できたと答えた。「『パチンコ業界』を就職活動の対象として興味を持つたか」の設問には「すごく持つた」33%、「少し持つた」56%と、興味を持つた人が89%いた。

また、「パチンコ業界のイメージ」について、「プラスイメージ」27%、「マイナスイメージ」52%、「両方」12%、「その他・無回答」だったが、セミナー参加後は、「すごく良くなつた」24%、「少し良くなつた」52%、「変わらない」22%、「悪くなつた」無回答となり、「すごく良くなつた」少し良くなつた」で76%を占めるなど、プラスイメージが大幅に増えた。

回答者の男女比率は、男性82%、女性18%。パチンコ・パチスロの経験は、「ある」74%、「ない」26%だった。

「パチンコ産業合同説明会」のブースを出展した。日遊協の「リクナビLIVE」参加は、2010年11月の東京ビッグサイトでの開催以来2回目となる。今回のブース入場者数は、事前予測の600人をやや上回る635人だった。

このうち会場でのアンケートに565人（男性82%、女性18%）が回答し、9割が「就職の対象として興味を持つた」と答えた。

「リクナビLIVE」の対象は2014年春卒業予定の学生で、全体の入場者は2万2000人だった。巨大な会場は3エリアに分かれ、午前10時過ぎからスースっと、男女大学生でごった返した。日遊協ブースは右エリア内にあり、他社のブースよりやや大きめの53席の椅子が配置された。

業界理解へ31人動員

ブースは通常、企業単位での出展で、業界でも個社で出展した大手ホテルもあったが、日遊協ブースは遊技産業を代表する形で参加した。日遊協が参加した目的は、学生たちに遊技業界の全体像や各業種の仕事内容をよく知つてもらつて社会的なイメージアップを図り、

映像とスピーチで

セミナー担当は会員企業の人事担当社員や入社後1~3年の男女社員たちで、1回30分で11回の講演をこなした。講演内容はパチンコ産業と社会との関わり、各業種を含めた産業の全体像、社会貢献活動、先輩たちのナマの声などで、スクリーンを使って簡潔に説明された。ブースは午前11時過ぎの開場から満員続々で、多い時には10数人の立ち見が出た。しかし、夕方、開場全体の入場者が減るのに比例して日遊協ブースの入場者も

お土産も喜ばれて

ブース周囲に会員企業の募集パンフレット等が並べられ、入場した学生たちで、協力企業からのノベルティーグッズをプレゼントされ、うれしそうだった。今回、37企業が協賛金を出し、13企業がノベルティーグッズ等で、17企業が運営でそれぞれ協力した。

●協賛金出資企業<37社>=株浅間製作所、株アリストクラートテクノロジーズ、株オリビア、株北電子、京楽産業、株、株金馬車、ゲンダイエージェンシー、株、コスモ・イーシー、サンキヨー、株、株三洋物産、ジーピーエム、株、ジェッター、株、ジャパンセットアップサービス、ジャパンネットワークシステム、株、大日商事、東和産業、トリックスターズ、アレア、株、内藤商会、株、西陣、株、西の丸、株、日光商事、日拓リアルエステート、株、日東、株、ニラク、NEXUS、株、ネット、株、パック・エックス、ピーアークホールディングス、株、ひぐちホールディングス、株、藤商事、株、プローバ、株、平和、株、ボナル、株、マルハン、マルホン工業、株、安田屋、株、ユーコー ●遊技台画像・映像・ノベルティ協力企業<13社>=株エース電研、株、オリンピア、株北電子、京楽産業、株、株三洋販売、株、大都技研、タイヨーエレック、株、高尾、豊丸産業、株、株、西陣、株、藤商事、株、平和、山佐、株 ●当日運営協力企業<17社>=株愛知商会、栄伸商事、株、株北電子、ジャパンネットワークシステム、株、正栄プロジェクト、株、玉屋、東和産業、株、株、パック・エックス、ピーアークホールディングス、株、ひぐちホールディングス、株、フシミコーポレーション、株、株、プローバ、株、平和、株、マルハン、株、メイドインサービス、株、安田屋

一般紙で日遊協若手がフォーラム

「未来の姿」を熱く語った社会に向けた業界アピール

日遊協は、社会に向けて広くパチンコ・パチスロ産業の姿をアピールするため、12月26日付けフジサンケイビジネスアイに、ホール、メーカーの次世代経営者4人が登場する2ページの紙面フォーラムを掲載した。フォーラムは「彼らにとつての遊技産業とは、そして目指す“未来”とは」の見出しで、東和産業(株)取締役副社長・岸野誠人氏、セガサミーホールディングス(株)取締役・里見治紀氏、ピーアークホールディングス(株)取締役・庄司眞氏、日拓グループ代表取締役社長・

西村拓郎氏(50音順)ら、30代後半から40代前半のニューリーダーたちが出席した。司会進行は諏訪東京理科大学教授・篠原菊紀氏が担当した。岸野、西村、篠原の3氏は日遊協理事でもある。

フォーラムでは、大衆娯楽としてのパチンコ・パチスロに今求められているもの、時代の要請・社会のニーズにどう応えるか、社会に対する責任、産業の未来に向かう想い——などが活発に語られ、「対症療法的取り組みからの脱却」「クレーム産業から“ありがとう”の意見が出た。

産業“へ”『感動機会』の提供」「社会性、公共性、公益性を軸に」など

フォーラムの取材は12月9日、ゲランドアーク半蔵門で行われ、深谷

友尋日遊協会長、伊東慎吾同常務理

(上)紙面フォーラムが載ったフジサンケイビジネスアイ(12月26日付け)

(下)産業の未来を語り合う(左2人目から)岸野、西村、庄司、里見氏。中央後ろ向きが篠原氏(グランドアーク半蔵門で)

事が同席した。

広報調査委員会

12月14日

本部会議室
出席委員等12人

142ホールが協力 ファンアンケート調査

日遊協ホームページで、パチンコ業界の各種調査データを集めてアップする企画を協議した。業界横断的組織のホームページとして、

業界関係者だけでなく、パチンコに興味を持つ一般の研究者にも役立つような幅広い調査データの網羅が目標。官公庁、パチンコ業界、民間調査機関、企業などの調査の中で、公表可能なデータを対象に協力を求める。「パチンコ・パチスロファンアンケート調査」は11月中旬から12月中旬まで行われたが、協力企業は全国37社142ホールとなつたことが報告された。

会員ホール以外にも、都遊協青年部、九遊連青年部からの協力を得た。

る各種申請の、手数料を規定した政令の改正案が説明された。風呂法の法令等改正の要望検討の中で、賞品提供及び遊技料金についてフリートーリングを行つた。

景品関連促進PT

12月11日

本部会議室
メンバー等9人

コンビニ側の利益重要 今後も継続的に協議

コンビニ商品の景品導入でファミリーマートとのコラボレーションの可能性を探るために、同社幹部との意見交換が行われているが、

その内容が報告された。それによると、ホールへの出店にはコンビニ側の利益を生むスキームの確立が重要であること、出店するとすれば、フランチャイズ店舗を母店としてホール内に子店を出すサテライト方式が考えられること——などとなつていて。委員会では、

法令等改正の要望検討

風呂法PT

12月20日

本部会議室
メンバー等9人

遊技機メーカーやホールに関わる

な活動が必要」としている。



社会貢献・環境対策委員会が台湾視察

社会貢献・環境対策委員会は1月13～15日、台湾で売電ビジネスの視察研修を行った。

一行9人は、(株)環境経営戦略総研の村井哲之社長から日本の売電ビジネスの現状と今後についてのレクチャーを受けた後、売電ビジネスを行っているTOPCO社の事業説明と同社が養鶏場の屋根を借用しソーラーパネルを設置している高雄近郊の現場視察を行った。台湾の売電単価は発電規模によつて異なるため、TOPCO社は単価の高い小規模発電拠点を複数所有し、全拠点を中央で集中管理している。数値に異常があつた場合、遠隔で設置カメラを操作して状況確認できる体制を整備するなど、効率的な維持管理方法として参考になつた。

その後、ソーラーパネルメーカーのABLYTEK社を訪問。実際のソーラーパネルの製造課程を視察し説明を受けた。同社は世界で3社しかできない曲線モジュ



台湾のパチンコホールのまえで記念撮影

法について協議した。
表彰の内容は、パチンコは「遊パチ以外」「遊パチ」、パチスロは「Aタイプ以外」「Aタイプ」の計4部門、選考対象機種は2012年に登場した全機種とし、日遊協会員企業の社員からウェブアンケートの形で投票を募ることに決まりた。前回行われたファン雑誌との連携は、今回は時間的な制約などで中止することにした。

救命講習会に33人 東京都・関東支部が開催

東京都・関東支部は12月17、20日の2回にわたり、日遊協本部会議室で京橋消防署の協力で救命講習会を開いた。

受講したのは会員企業社員の有志と本部事務局員など計33人。内容は普通救命講習で、京橋消防署員が5体の人形を使い、心肺蘇生のための胸骨圧迫と人工呼吸、AED(自動体外式除細動器)の使い方、気道異物除去、応急止血などの応急手当の知識と技術を約3時間にわたって講習した。



12月18日
出席委員等14人

遊技機委員会

会員から投票募る 4部門の遊技機アワード

遊技機アワードで表彰、選考方

JANUARY

1月の行事予定

15日(火)	15:30～17:30	遊技機委員会
17日(木)	12:00～13:30	支部運営会議(グランドアーク半蔵門)
	14:00～17:00	理事会・臨時総会(同)
	15:00～17:00	社会貢献・環境対策委員会(同)
	17:00～17:20	記者会見(同)
	17:30～19:15	新年祝賀会(同)
18日(金)	13:30～15:00	パチンコインターネット広告協議会
	15:30～17:30	人材育成委員会
21日(月)	13:30～15:30	遊技機リサイクル推進委員会(日工組)
22日(火)	13:30～14:30	不正対策室会議
23日(水)		店長・管理職能力開発講習・試験
24日(木)	10:00～17:10	取扱主任者講習・試験(新規)(都市センターホテル)
25日(金)	10:00～16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(同)
28日(月)	13:30～15:00	中古機流通協議会(全日遊連)
29日(火)	13:30～15:30	セキュリティー対策委員会
	17:45～19:30	パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会(第一ホテル東京)
30日(水)	13:00～15:00	景品関連促進PT

セキュリティー対策委員会

機歴管理の行程を報告 運送業者保管



機歴管理システムについて協議したセキュリティー対策委員会

第66回セキュリティー対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は12月19日、日遊協本部会議室で開かれた。全商協から、遊技機運送事業者倉庫調査の11月末現在の集計が報告された。これによると、全商協加盟の販社が関係する運送事業者数は全国で105社、倉庫数216。これらの運送業者の倉庫でのパチンコ、パチスロを合わせた中古機保管台数は70万4台、廃棄台保管台数は1万台1154台、これらを含めた遊技機の保管台数合計は71万5832台となっている。これら以外はホールに設置中か、ホールが保管している遊技機となる。

パチンコ遊技機の出荷から廃棄までの履歴情報を、インターネット回線で日工組の機歴管理センターに集中させ「二元管理する『機歴管理システム』」の構築について、検討中の事項が日工組から説明された。正改造事例が判明し、日工組から「中古遊技機流通に伴う主基板確認について」と題する対策の提案があった。今後さらに詳しい情報を開示し、全体の被害状況を把握して早急に具体策を講ずることを確認した。

10月の中古用、認定用の確認証紙発給状況が報告された。パチンコの中古用稼働実績は5万1211件（前年対比102%）、10万3157台（同100%）。目立った機種は、8月末に納入されたCRパチンコAKB48だった。認定申請は6858件5万8116台で、今年もつとも多い取扱いとなつた。一方、回胴式の中古用稼働実績は2万1396件（同139%）、4万8519台（同136%）。認定

社以外に流れた遊技機の把握などが課題となつていて。

不正対策室会議

目立ったAKB48の流通

日工組から不正対策の提案

第81回中古機流通協議会（委員長・阿部恭久全日遊連副理事長）は12月3日、全商協会議室で開かれた。パチンコ2機種3台に関して、目視点検では発見が困難な不正改造事例が判明し、日工組から

「中古遊技機流通に伴う主基板確認について」と題する対策の提案があつた。今後さらに詳しい情報を開示し、全体の被害状況を把握して早急に具体策を講ずることを確認した。

11月のPSI/Oオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は、業界から34件、一般ファンから437件の入力があつた。一般ファンの入力は今年7月から大きく落ち込んできたが、10、11月と少し回復してきた。

ゴト情報では、相変わらず「北斗の拳」「ミリオンゴッド」を中心に対する攻撃が全国的に続いている。最近は電磁波によるARTごとも目立ってきた。10月以降の機械には監視体制が強化されているので収束への期待がかけられている。不正情報では無承認の部品変更や釘曲げの指摘など遊技機に対する不信が強く、サクラ、打ち子の問題視も店員の不正疑惑と並んで入力されている。

申請は228件695台。

強い遊技機への不信 一般からの入力437件

不正対策室会議（室長・伊東慎吾日遊協常務理事）は12月10日、日遊協本部会議室で開かれPSI/O（不正対策情報機構）への入力報告を行い、委員14人がゴト・不正情報について検討した。

東京都・関東支部ボランティア隊 第9陣

冬の東北なのに汗をかく「ウチを先に」と老婦人の言葉に

▽12月5日～7日

▽場所 宮城県南三陸町港地区

▽隊員 隊長・植田寛之(株)千歳観光、副隊長・安田智史(株)安田屋、

隊員・菅野誠、阿部隆太郎(株)安田屋、小美野顯治(株)千歳観光、測上幸生、

町田和博(ピーアークホールディングス(株))、測上幸生、町田和博(ピーアークホールディングス(株))

▽作業 瓦礫の撤去及び分別

自分たちの活動場所が南三陸町の港地区というところに決まり、主にガレキの撤去で、津波によって流された家の基礎の中にある泥なども撤去し、流されてきた木片、

感覚寒気がしました。当初、天気予報では雨と予想されていましたが、心配をよそに作業をしていると12月の東北地方とは思えないようだ。汗が止まらないような天候でした。

作業をしていると、缶詰めやビ

ール瓶、食器やスプーンなどが出てきました。特に子供用のフォークを見た時は、無事に生きしていくれるのだろうか?と考えたり

もしました。長田さんが「今でも

いうことでした。この話を聞いて、改めて自分がここへ来た意味

を考えました。「自分には、2日間という比べものにならない短い

期間しか活動できなければ、必ず地域の方が夢を失わないような行動と言動をこの地に残して帰ろう」と心中で決心しました。

ボランティアセンターから港地区までは車で25分程度のところでした、道中、津波で落橋した歌津大橋を迂回しながら状況を確認す

ると、改めてこの津波の大きさを感じ寒気がしました。当初、天気予報では雨と予想されていましたが、心配をよそに作業をしていると12月の東北地方とは思えないようだ。汗が止まらないような天候でした。

とにかく近所に住んでいる老婦人が訪れました。「自分の家の作業を先にしていただけないでしょうか?」と嘆願されている姿を見てたまらない気持ちになり、まだまだこの地域は多くの人の支援が必要であることを改めて実感しました。

(植田寛之)

全機にエコ機能を搭載

約13%削減の効果見込む

日電協加盟社が省エネ強化

モード

モードのままで出荷される予定だが、将来は出荷段階でエコに調整済みにしたいと日電協では言っている。

エコ機能はスイッチの操作で設定・解除が行われる。当面は通常モードのままで出荷される予定だが、将来は出荷段階でエコに調整済みにしたいと日電協では言っている。



第9陣で頑張った7人のメンバー（後列中央2人はセンターのスタッフ）

日電協は、11月1日以降に検定申請するパチスロ機に、消費電力を抑えるためのエコ機能を搭載するとして発表した。設置対象は加盟社すべての製品としている。

機は2013年春に市場に出る模様で、該当遊技機には「エコ機能マーク」がつけられる。



日電協のエコ機能マーク

エコ機能の概要は、表示部分のうち枠LED、リールランプ、サードランプ、回胴照明、液晶表示が遊技中は点灯し、待機中は消灯または滅灯する。下パネルは逆に

待機中に点灯または滅灯し、遊技中は消灯または滅灯する。音量は通常100～110デシベルのところを95デシベル相当に落とす。

日電協はすでに2011年秋以降、LED化などの省電力措置を取り組んでおり、12年9月時点までに約21%の省電力効果をあげているが、今回のエコ機能を作動させることで、例えば通常時の電力消費量48ワットだったパチスロ機が42ワットに落ち、約13%の削減効果があると見込んでいる。

エコ機能はスイッチの操作で設定・解除が行われる。当面は通常モードのままで出荷される予定だが、将来は出荷段階でエコに調整済みにしたいと日電協では言っている。

モードのままで出荷される予定だが、将来は出荷段階でエコに調整済みにしたいと日電協では言っている。